

夏の終わりに（１）

夏休みもあと少し。ここでしばらくお休みしていた学校長よりを再開します。まずは先日仙台育英の初優勝で幕を閉じた高校野球。東北勢は春の選抜を含めて初めての甲子園での優勝でした。本校の野球部も県予選の初戦が7月10日の豊岡こうのとりスタジアムでの2回戦でしたが、本校の4番打者のホームランも出て、17-0で大勝し、この初戦突破を皮切りに甲子園を目指し、本当によくやりました。

続く7月15日のほっともっとフィールドでの3回戦は甲子園にも出場しプロ野球選手も輩出している強豪校でしたが4-3で勝ち切りました。7月18日の4回戦は、春の大会で本校が敗れた学校に勝ち、4回戦に進出してきた学校でしたが7-0で勝利しました。そして7月23日の姫路ウイング球場での5回戦。昨年度も5回戦まで進んだ強豪校が相手でしたが、初回の立ち上がりを突かれ5点取られた後、2回以降はバッテリーを中心にしっかりと守り切り、得点を許さず、何とか2点差まで詰め寄りましたが残念ながら3-5で敗戦となりました。

4月の春の大会で見たときに比べ、まるで別のチームかと思うぐらい、走攻守ともたくましいチームになっていましたが残念ながら甲子園への夢はかないませんでした。

顧問の先生は今の3年生は様々な苦労を経験し、それを乗り越えてきた。これは、卒業後の人生にも必ずプラスとなると言っていました。ぜひ、残りの高校生活を更に充実したものとし、卒業後は高校野球での経験を糧に、次のステージでの更なる飛躍を期待します。





